

【調査実施者】

福島県こども未来局

こども・青少年政策課

福島県

こどもまんなかアンケート

こども・若者のみなさんが自分らしく幸せに成長して暮らしていける「こどもまんなか社会」をつくるため、福島県は「福島県こどもまんなかプラン」を策定しました。この計画をもとに、こども・若者が幸せになれるよう支援する「こども施策」を行っています。

福島県は、こどもまんなか社会の主役となるみなさんと一緒に「こどもまんなかふくしま」をつくっていきたいと考えています。そこで、県内の小学6年生、中学2年生、高校2年生を対象に、このアンケートでみなさんの声を集め、その声を県の計画やこども施策に活かしていきます。

アンケートでは、あなたのお名前はお聞きしません。また、誰がどのように答えたのかはわからない仕組みになっています。

安心して、あなた自身の考えをありのままにお答えください。



回答期限

令和7年7月4日（金）





わたしたちの声は
どのように使われるのかな？

福島県のこどもまんなかを進める
いろいろな取組に活用されるよ！
例をいくつか紹介するね。



1 「こどもまんなか社会」に向かっているか確認するための「指標」にします

たとえば、学校ではみなさんがどのくらい授業の内容を理解できているか確認するため、テストをして点数をつけますよね。それと同じで、県の計画や施策も、きちんと成果が出ているか確認するため、様々な「ものさし＝指標」を設定して評価しています。

この調査で集めたみなさんの声は、福島県がどれだけこどもまんなか社会に近づいているのか、またこども施策が本当にみなさんのためになっているのかなどを測る「指標」として活用します。こうすることで、こどもまんなか社会に向けた今の様子がわかりますし、また計画やこども施策の改善にも役立ちます。

こどもの幸福度

××年 △△年 ○○年



★みなさんの声は「福島県こどもまんなかプラン」の指標として活用されます。県はこの指標の結果や動きを見ながら、いろいろなこども施策に取り組みます。

2 「こどもまんなか社会」に向けた課題を発見するため、結果を分析します

こどもまんなか社会の実現に向けて、みなさんや地域が抱えている課題をひとつひとつ解決していく必要があります。そのために、まずはどんな課題がどこにあるのかを見つけなければなりません。

そこで、みなさんの声を集計した結果をいろいろな角度から分析することで課題を明らかにし、それを解決するために必要な取組を立案・実行していきます。このように、みなさんの声がヒントになって、こども施策が進んでいくのです。

A 地方

B 地方

C 地方



★たとえば上のグラフのように、みなさんの声を地方ごとに分けて比べてみて、ある地方だけとても低かったとしたら、そこで何か問題が起こっていると予想できるね。

県の実行は、県民のみなさんに納めていただいた税金を使って行っていますので、無駄づかいはできません。

そこで、少ない予算で効果的に実行を行う方法があります。まず、一部の地域に限って実験的に実行を行います。それから実行を行った地域と行わなかった地域とを比べ、効果があると確認してから、他の地域にもこの実行をひろげていくのです。

みなさんの声が広く集まることで、この方法がこども施策にも使えるようになります。そして、こども施策を無駄なく効果的に進められるようになるのです。

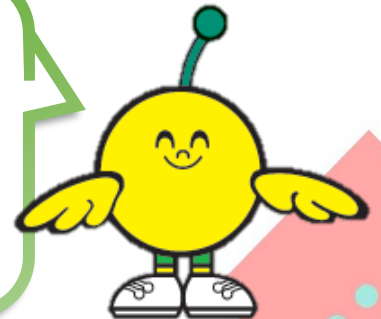
実行実行

★赤の地域でだけ実行を行ってみたら、他の地域よりも良くなっていることがわかったよ。これなら、他の地域でこの実行を進めても効果がありそうだね。



わたしたちの声は、わたしたちがもっと幸せになれるよう、こども施策をどんどん良くしていくために使われるんだね。

そのとおりです！こども施策はこども・若者のみなさんのために行われるものですから、みなさんの声を聞き、みなさんに評価してもらいながら進めていくことがとても大事なのです。



それじゃあ、ぼくらの声はなるべくたくさん集まった方がよいよね。

はい、そうなんです。本当にみなさんのためになるこども施策としていくため、そしてこどもまんなかの県づくりを進めていくため、福島県はみなさんの声をしっかりと受け止めていきたいと考えています。そのためには、みなさんからのたくさんの声が必要です。どうかみなさん、アンケートにご協力ください。

